

授業科目名	地域創生論	担当教員	古賀 弥生 崔 光雄
必修の区分	必修		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2年 第3クォーター		
講義内容	<p>地域創生とは、人口減少と都市への人口集中、少子高齢化など地域社会が抱える課題に対応し、地域がその個性を活かしながら魅力を高めていく取り組みを指す。地域創生の取り組みは、観光や経済と芸術文化の両面からのアプローチが考えられ、地域に関わる人々の主体的な活動により支えられるものである。この授業では、兵庫県内はもとより全国、海外も含めた地域創生事例を取り上げ、観光・経済と文化を両輪とした地域の持続可能な発展を支える活動について学ぶ。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本各地及び但馬地域における地域課題について、概要を説明できる。 ・ 地域経済の活性化と観光・芸術文化の関わりについて、事例を挙げて説明できる。 ・ 特定の地域について、課題の分析とその解決策の提案ができる。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域創生とはなにか（古賀・崔） 言葉の定義と地域創生に関するキーワードを知る 2. 観光と統計（崔） 地域創生における観光の役割について、統計を用いて学ぶ。 3. 観光の経済効果（崔） 観光の経済効果を理解し、それをいかに地域創生につなげるかについて学ぶ。 4. 創造都市論（古賀） 地域政策の中核に文化芸術のクリエイティビティを位置付ける創造都市論の概念を学び、経済活性化にとどまらない地域発展のあり方を考える 5. 芸術文化の取り組みと地域創生（古賀） 「創造的な地域」の事例から、創造性を活用した地域創生策について学ぶ。 6. 各地での地域創生の取り組み（古賀、崔） 受講生の地元等における地域創生の取り組みを調査する。 7. 行政による地域創生施策について①（古賀、崔・ゲスト講師） 自治体による地域創生施策の推移と課題を学ぶ。例として兵庫県の現状と取り組みを知る。 8. 行政による地域創生施策について②（古賀、崔・ゲスト講師） 但馬地域における課題と資源に関する情報収集と整理を行う。 9. 但馬地域の地域創生を考える①（古賀・崔） 		

	<p>但馬地域における特定の課題にフォーカスし、その解決策に関する提案を検討する（グループワーク）</p> <p>10. 但馬地域の地域創生を考える②（古賀・崔）</p> <p>但馬地域における特定の課題にフォーカスし、その解決策に関する提案の中間報告を行う（グループワーク）</p> <p>11. 但馬地域の地域創生を考える③（古賀・崔）</p> <p>但馬地域における地域課題とその解決策に関する最終プレゼンテーションの準備を行う（グループワーク）</p> <p>12. 但馬地域の地域創生を考える④・総括（古賀・崔、ゲスト講師）</p> <p>グループで取り組んだ活動のプレゼンテーションを行い、地域創生に取り組むためのポイントをまとめる</p>
事前・事後 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業テーマに関連したキーワードを提示するので事前に文献等で学習すること。 ・次の講義の前に、配布したプリントや参考資料を用いて前回の授業内容を復習のこと。
テキスト	なし。各回の授業において資料を配付する
参考文献	授業内で適宜紹介する
成績評価 の基準	授業内で実施する小レポート（60%）、課題レポート（30%）、プレゼンテーション（10%）により評価する
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	該当しない。
備考欄	この授業は「地域創生実習」「地域コミュニティ論」と関連します。合わせて履修することを推奨します。